

平成26年 第6回(12月)志免町議会定例会一般質問通告書

通 告 順

[illegible]

			2. いのちを守るための施策を。	(1) がんは検診で早期発見、早期治療やワクチンで未然に防ぐことができるようになりました。女性特有のがん、子宮頸がんで、悲しい思い・つらい思いをする事が無い時代をつくりましょう。	① 子宮頸がんの原因は、ヒト・パピローマ（HPV）ウイルスとわかっている。町が現在行っている細胞診に加え HPV ウィルス検査の併用診断で検診精度をほぼ100%まで上げる事ができる。 より精度が良い検査方法で検診を行うべきである。 結果によっては、検診期間を延ばすことができる。 子宮頸がん検診の終了期も迎えられる。 費用対効果の出る。(初期費用はかかるが後に検診費用・医療費削減に繋がる)。 ② 受診率向上のために、受診しやすい環境づくりを。(20歳以上の若い女性から対象) 休日・平日夜間がん検診・無料クーポンの活用など。 ③ 言うまでもなく啓発・がん学習(学校・地域)が重要。	町 長 教 育 長
7	末 藤 省 三	30分	1. 地方創生について。	(1) 地方創生をどうみるか。	① まち、ひと、しごと、地方創生の中心問題に人口減少の克服、東京一極集中の是正、原因をどう把握しているか。 ② 人口流失についてどう認識しているか。 ③ 平成の大合併、道州制をどう考えているか。 ④ アベノミクスで住民の暮らしをどう考えているか。	町 長
			2. 税、社会保障について。	(1) マイナンバー制度(共通番号制度)。	税、社会保障共通番号制度(マイナンバー)。 ① 自己負担軽減の拡充になぜ共通番号が必要か。 ② 費用対効果(システム構築費用、更新拡大費用)等は費用がどれほどかさむのか(住基ネット費用対効果)。 ③ プライバシー侵害やなりすまし等の犯罪の常態化をどうふさぐのか。 ④ 個人番号変更について新しい番号を行きわたせる規定はあるのか。 ⑤ 個人情報売買されるはどめは。	町 長
			3. 教育について。	(1) 道徳強化について。	① 道徳教科をどう受けとめているか。 (憲法 の 思想、良心の自由を侵すことをどう考えているか) ② 教育再生をどう考えているか。 ③ 40人学級復活をどう考えるか。 ④ 教育委員改革をどう受けとめているか。 (首長の教育行政への介入をどう思うか) ⑤ 教育の基本計画(大綱)をどう作るのか。 ⑥ 新教育長の権限及び条例はどうなっているか。 ⑦ 小中学校へのエアコン設置をどう受けとめているか。	町 長 教 育 委 員 長 教 育 長
8	堤 久 美 子	30分	1. 志免町の特性を活かしたまちづくりを(2期8年を振り返って問う)。	(1) 住民参画(参加)による福祉でまちづくりを。	① 団塊世代が後期高齢者となる2025年に向けどのように進めていくのか将来像は。 i 2025年を見据えて何が必要か。 ii 志免町はどのような方向性で進もうとしているのか。スローガンを掲げて住民参加の福祉でまちづくりを。 ② 地域包括ケアシステムの構築には自治体が主体性を持たなければならないということだが。 i 介護保険広域連合運営と単独運営のメリット・デメリットは。 ii 自治体が責任を持ってケアシステムの構築をめざすなら、連合から脱退し議会も責任を持つ必要があると思うが。 ③ ICTの活用を。	町 長
				(2) 庁舎内・関係団体の組織・配置見直しを。	① 厳しくなる財源問題、多様な住民ニーズ・2025年問題等に対応するために組織機構改革は必要と思うが。 i 健康・福祉課の一体化は。 ii 総合福祉センター(シーメイト)への課の配置とつどいの家を望山荘へ移動は(グループウェアのソフト導入で課題は解決できるのでは)。 iii 子育て課は1階に配置する方がやさしいと思うが、3階配置メリットはなにか。 iv 離れに配置されている地域交流課の今後について。 v 校区コミュニティ協議会の設置。	町 長